

本年二月、本荘東ロータリークラブの創立三〇周年記念式典にご招待された。

同クラブは、潟上ロータリークラブの友好クラブであり、クラブ会長としての招待とガバナー エレクトに對する招待の二通を頂いた。ちよつと説明が必要だが、本荘東ロータリークラブは、潟上ロータリークラブの仲介で台湾の宜蘭東區扶輪社と友好クラブの關係を結んでおり、その台湾から式典に十八人が参加している。台湾の人たちと昼食会を持つので、潟上ロータリークラブも参加して欲しいとのご招待である。

式典前の十二時から食事を開催するとの事で、ちよつと早かったが、十一時半に到着した食事会場には誰もいなかったため、ロビーに向かつて退出したところ、廊下の突き当りの部屋から人が出て来て、呼び止められた。丁度、宜蘭東區扶輪社の方々と写真撮影をしているので、一緒に入つて下さいとのこと。入室すると潟上ロータリーの面々は既に同席していた。事前の案内もなかったよな、と思ひながらも写真撮影に応じたが、何か変な感じである。

昼食会場に席を移したが、何の挨拶も、紹介もないまま、どうぞ召し上がつて下さいとのこと。これも何か変な感じである。こちらは、台湾の方々に用意していた土産の小物と名刺を配つたが、何ですかと言

何か変ですね



う様な感じである。潟上ロータリークラブの姉妹クラブである宜蘭扶輪社の方々ともおみやげ交換をするのだが、何か変な感じである。

早々と昼食会も終了し、式典開始の三時まで二時間以上ある。茶席が設けられていたが辞退し、コーヒーを飲んだり、本を読んだりして時間を過ごす。式典開始の十五分前に来賓待合室に入ったが、来賓の方々は誰もいない。スタッフがいるだけで、何か変な感じである。

式典が始まる前に、プログラムを見た来場者の一人が近付いてきた。「エレクト、ガバナーは来られないのですか」と聞かれた。確か、和歌山の地区大会に出席されると聞いていたので、「そのようですね」と答えた。「ガバナー年度のホストクラブと地区事務所は、本荘東でしたよね」と念をおされた。「そうですね」と答えると、「何か変ですね」と言いながら去つて行った。

四日前、突然、本荘東クラブの会長が、「ガバナーが欠席されるので、式典の資料を届けに参りました」と潟上の例会に出席された。エレクトとしての祝辞を書き換え、「ガバナー所用により欠席となりましたので、代わりにお祝辞を述べさせていただきます」と追加記載したが、考えてみると、やっぱり何か変ですね。(ドデシタ)